

登録コード	HM120800	開講年度	2026				
授業題目	形成再建外科学特別研究					担当教員	杠 俊介 他
英文授業名	Research Thesis in and Reconstructive Surgery					副担当	常川 主裕
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					形成再建外科学における現時点の課題を見出し、それを克服するためにどのような研究を実行し学術論文を作成できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information							
(3)授業の概要 /Overview of course	形成再建外科の臨床医療に直結した独創的な研究を、局所解剖学、組織学、細胞学や計測学の手法を用いて実践する。その研究の遂行と成果公表のための論文作成指導を行う。						
(4)授業計画 /Course plan	(杠 俊介) 創傷治癒における再生と修復について講義と研究指導を行う。 赤唇再建・再生に向けた基礎的研究、難治性爪甲変形の病態解析、健全な爪甲再生に向けての基礎的研究、難治創傷に対する細胞および細胞内器官を用いた治療戦略に向けた基礎研究指導を行う。 (常川主裕) 顔面各部の年齢 (成長と加齢) による数値変化などの課題について研究指導を行う。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	授業計画の各分野終了後にレポートを提出し、理解度を100点満点で評価する。90点以上秀、80 - 90点優、70 - 80点良、60 - 70点可、60点以下不可とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	レポート作成のためのパソコン環境をそろえ、その操作に習熟すること。						
(7)質問、相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。教室に来ていただいても良い。メールでの質問も受け付ける。						
(8)授業の形式 /Course format	毎回講義終了後に復習を心がけること。研究事例の取りまとめや報告、議論にはパソコンを用いたプレゼンテーションが必要となるので、その環境を整えること。						